

階段の上から落ちてきた女尻 色気  
漂うムッチムチの彼女とホテルへ速  
攻ダッシュ！！！！

階段の上から女尻が落ちてきた。

びっくりして俺は思わず驚掴みにする。

「きゃっ！！！！」

女体は甲高い声を上げて、一緒に階段の下のコンクリートの上  
に倒れ込んだ俺の方を向く。

仰向けで二人が重なっている形。

抱え込むようにしたので、最初はお尻を触っていたが腕を前に回して女性のおっぱいを抱える形となっている。

むにゅっ・・・・・・・・

掌全体に肉感が広がる。

指の圧で肉が凹んでいる。

俺は腹をくくった。

「このままいってしまえええええつつっ！！！」

人生には能力だとか運だとかいろいろと必要なことはある  
が、

タイミング

というのも一つの重要な要素ではないだろうか。

お姉さんの襟足（えりあし）から良質な香水の匂いがした。

フェロモン？

それはもちろんあるに決まっている・・・・・・・・。

「んはぁんっ！！最高っ！！最高なのおおっっ！！！」

お姉さんが腰を振る。

素っ裸でパイパンを俺の股間部に押しつけて。

もちろん俺の超巨根は、ずっぽりとお姉さんの子宮口、腹膜部まで到達し胃腸をぐいぐいと押ししてしている。

お姉さんの名前はユキエ。

繰り返すが人生はタイミングだ。

人混みが行き交う駅の構内の階段だった。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)